

STELLAR、Nazca、NazcaRIS の導入で医師、放射線技師だけではない
院内全ての職種の方が使用できる発展性のある環境の構築に成功



MRI 検査風景

導入経緯
将来を見越して
様々な情報が統括できるステラを導入

当院はオーダリングシステムと PACS での運用でしたが、2015 年に電子カルテシステムを導入することとなり RIS、PACS も更新することになりました。以前の RIS はオーダリングシステム付属のものを使用し DICOM MWM にも対応しておらず、各モダリティに技師が患者情報を手入力していた不便が強いられていたため、電子カルテ導入を機に本格的な RIS を導入しようと考えていました。

PACS に関してはそれまで使用していたベンダーのものに不満はありませんでしたが、将来的な事を見越して単なる PACS ではなく様々な情報が統括できるシステムを探していました。似たような機能の製品を持つ幾つかのベンダーを比較した結果、アストロステージの総合評価が最も高かったため導入を決めました。

**ステラを導入する事で通信負荷を分散し
快適な電子カルテシステムを構築**

選定の決め手となったのは、ステラの統合ビューアとしての使い勝手の良さだと思います。電子カルテを同時に導入しましたが、当初から電子カルテはサーバをデータセンターに置いての運用を考えていたので、外部との通信で電子カルテがスムーズに動くのかとの懸念もありました。

そこでステラを導入することで、通信負荷の軽減が行えるのではないかと考えました。実際にオンプレミスで運用しているステラには DICOM 画像の他に、検体システムや各種レポート、同意書や診療情報提供書などのスキャンされた情報、心電図や病理システムまでがリンクされていますので、ステラを見る事でかなりの情報を得る事が可能となりました。これにより、電子カルテへのアクセス回数が減らせ、通信負荷を分散した快適な電子カルテシステムの構築ができました。

導入システム	
DICOM 画像管理システム	Nazca
RIS システム	NazcaRIS
診療情報統合システム	STELLAR
ドキュメント作成&管理システム	STELLARReport
画像キャプチャシステム	ARKGate
部門システム	ASTRO Launcher

導入効果

放射線部門のみならず
病院の様々な業務効率が向上

単なる PACS、RIS の更新だけではなく、病院の運用に関わるシステムも導入出来て大変満足しています。例えば同時に導入したドキュメントスキャンシステムは使い勝手が良く、外来、病棟から発生する各種同意書や診療情報提供書などといった多くの書類をステラに整理出来るので、後での確認が非常に楽になりました。取込んだ文書が、タイムスタンプや電子署名を付与した電子文書保存の 3 原則に対応出来るようになったのもありがたかったです。

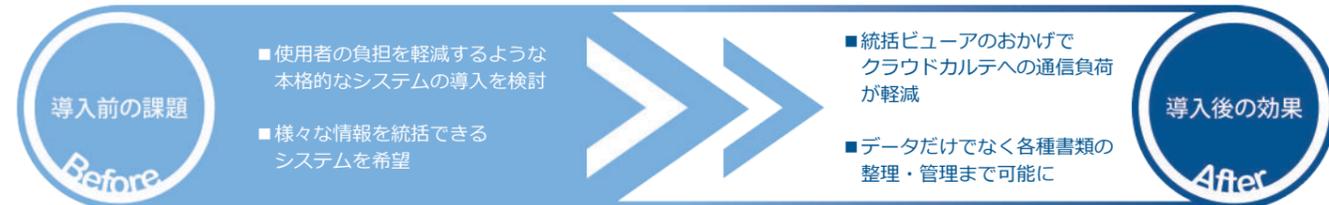
さらに、オペ室や乳腺センター、褥瘡ラウンドなどに利用しているエースフォトは患者情報と写真が確実にリンクさせることができ、iPad での操作は誰でも直感的に操作できるので大変重宝しています。

また RIS は放射線科、内視鏡室、超音波室、生理検査室で使用していますが、それぞれの稼働状況が簡単に確認出来ますので、効率的に検査の順番を変更したり、次の検査に患者さんを案内出来たりと同一システムで運用するメリットを感じています。

PACS は多機能の本格的な製品でありながら、ライセンス数に制限がないのが嬉しいです。以前は各病棟に数カ所しか導入出来ていませんでしたが、現在は電子カルテの入った端末には全て導入出来ています。医師、放射線技師だけでなく全ての職種の方が使用出来る環境が構築でき、大変満足しています。



読影医の皆さん



くまもと森都総合病院：システム導入時期 / Mar 2015



当院は、平成 29 年 4 月 1 日から新病院にて診療しています。最新の免震構造で建設された新病院は仮に大震災が起きても病院機能を維持できる強度であり、地域の防災拠点としての役割を果たします。

新病院での診療機能の整備・充実によって、より高度の医療を提供することが可能となり、地域の医療機関と密に連携して、在宅や施設での急変や高齢者の救急対応のバックアップ病床など、地域の在宅医療を支える熊本市の中心部における総合病院機能を有する「在宅療養支援病院」としての役割を果たしております。

さらには、「地域包括ケア病棟」や「緩和ケア病棟」、乳腺センターや婦人科を中心とした女性に優しい病棟などを配置しており、明るく開放的な病室は、療養生活を快適に過ごしていただける環境を提供しています。

所在地：熊本県熊本市中央区大江 3-2-65

病床数：一般病棟 154 床、地域包括ケア病棟 30 床、緩和ケア病棟 15 床

診療科：総合診療科・内科・肝臓/消化器内科・血液内科・リウマチ膠原病内科

呼吸器内科・循環器内科・腎臓内科・代謝/内分泌内科・放射線科・乳腺外科

外科・整形外科・リハビリテーション科・皮膚科・産婦人科・眼科・麻酔科

歯科/口腔外科

今後の期待・要望

熊本には営業所がないにも関わらず導入後もこまめに足を運んでくださりありがとうございます。様々な要望に応じてくれる数少ないベンダーの 1 つだと思っています。強いて言わせてもらえば多機能の PACS をもう少しシンプルにして欲しいです。

今後の方針

当院は熊本市中央区に位置し、2017 年 4 月に病院が新築され、2017 年 6 月には 95 周年を向かえました。新病院では診療機能のさらなる充実を図ると共に、より高度な医療の提供を目標としています。地域医療機関との連携から、施設での急変や在宅療養中の高齢者の救急対応のバックアップ病床まで、都心部における総合病院機能を持った在宅支援病院として、急性期から在宅医療までの切れ目のない医療を提供していきたいと思っています。



放射線科生理検査室 スタッフの皆さん

システム構成図

